11月の中国関連の合弁・全額出資・合作企業

設立企業名	所在地	日本・外国企業	中国企業・機関	事業項目	資本金	概　要
	山東省	丸紅(30%)	山東六和集団	飼料・畜産の合弁会社	100億円(総投資額)	年率18％で成長する中国食肉市場の需要を見込み、11年夏にも年産100万トンとアジア最大級の飼料工場の建設に着工する。畜産や食肉加工でも協業、飼料原料となる穀物の調達を手がける。(日経10.11.2)
常熟大昌威譜機械	江蘇省常熟市	大昌鉄工所(100%)		特殊紙・不織布・フィルム用産業機械の製販子会社	4億円	11年8月をめどに現地経済開発地区内のレンタル工場を稼働、現地日系企業向けに設計から組立まで手がけ、初年度3億円、数年後10億円の売上高をめざす。海外比率は4割、うち中国向けが3割。(日刊工10.11.3)
上海誠新二手車経営管理	上海市	米ゼネラル・モーターズ(GM、33%)、上海GM(33%)	上海汽車集団(34%)	中古車の合弁販売会社		新車販売で世界一の市場となった中国では中古車市場の商機も広がると判断。外資出資の中古販売会社は中国初だが、「誠新」ブランドで北京、広東省、山東省などにも11年までに4店舗開設する。(日経産10.11.4)
普莱斯冲圧部件(蘇州)	江蘇省蘇州市	プレス工業(100%)		建設機械・自動車用部品の子会社と工場	600万ドル(約5億円、総投資額10億円強)	10月に設立、工場稼働は11年秋の予定。日本からの輸出部品や外部調達品を新工場での生産に切り替え、現地調達率を高めることで製造原価の低減につなげる。初年度売上高6億円をめざす。(日経産10.11.5)
万得城	上海市	独・メトロ(75%)	台湾・鴻海精密工業(25%)	家電の合弁小売店		11月に1号店、将来は中国全土で100店以上の展開をめざす。店舗運営はメトロが主導するが、鴻海ではEMSに加えIT部材にも事業拡大、生産から組立、小売まで、総合電機に匹敵する体制が整う。(日経10.11.6)
新華錦(青島)長楽頤養服務	山東省青島市	ロングライフ国際事業投資(34%)	青島新世紀愛晩投資(66%)	高齢者向け介護施設運営の合弁会社	300万ドル	中国でも高齢化が進み需要が高まると判断、政府の承認後11年10月開業。日本から人員を派遣して介護職員を研修するほか、国内のノウハウを生かす。(日経産10.11.8)
電化新材料研究(蘇州)	江蘇省蘇州市	電気化学工業(100%)		合成ゴム・接着剤などの研究開発拠点	2.4億円	11年6月に設立。同社は中国でクロロプレンゴム、電子材料、スチレン系合成樹脂などを販売しているが、性能評価や検査、品質改良、新機能の付加など現地顧客からの要望に素早く、的確に応える。(日刊工10.11.9)
湖北日発汽車零部件、広州日発汽車零部件	湖北省広東省	ニッパツ(100%)		自動車用シートの生産子会社と懸架バネ工場建設	76億円(新設2社総投資額)、29億円(既存会社工場建設費)	12年中に工場稼働、13年に2社で288億円の売上高をめざす。また、60％出資の既存合弁会社・広州日正弾簧で29億円を投じて懸架バネ工場を新設、生産能力を現行比5割増の月75万本に高める。(日刊工10.11.9)
同和企業管理	上海市	DOWAホールディングス(100%)		事業統括会社	200万ドル(約1.6億円)	上海事務所を解消し、11年4月から間接業務やリスク管理を行う。環境リサイクル分野などで現地拠点の拡充を急ぐ一方、市場開拓も加速させる。(日経産10.11.9)
	華東地区	日立化成工業		自動車・家電製品向け機能性樹脂・化学素材の製造子会社	30億円	現在も中国で一部製品を製造しているが需要が年率10％以上で拡大しているため供給体制を整え、地場の関連メーカーにも出荷する。工場稼働は13年1月。同社の中国工場としては3拠点目。(日経産10.11.10)
	遼寧省瀋陽市	INAX(100%)		外壁用大型タイルの生産子会社と新工場	13億円(投資総額26億円)	東北地方での商業施設の建設増に対応。年産100万平米の工場を建設、12年春稼働。現地ディベロッパー向けに13年度2億元の売上高を見込む。(日経産10.11.10)
夏菜多瓦(上海)国際貿易		TAT(100%)		ネイルアート材料の卸売子会社	0.5億円	国内の競争激化に対応、上海と周辺都市を中心にネイルサロン向け通販ビジネスを展開。日本向けに商品開発も行う。同業界での海外進出は初めて。(日刊工10.11.11)
広州トッパン・フォームズ情報技術		トッパン・フォームズ(60%)	広東華亨電信設備(40%)	データプリント事業の営業合弁会社		コールセンター運営にシステム開発も手がける広東華亨のノウハウを活用し、日本企業や現地金融・通販業者向けに帳票やDMの印刷・発送を請け負う。(日経10.11.12)

上海通用五菱汽車		米ゼネラル・モーターズ(GM、44%)	五菱汽車(6%)、上海汽車集団(50%)	小型商用車の合弁会社への出資拡大	5,100万ドル(約41億円、追加出資)	上海通用五菱汽車への現行出資比率34%に五菱汽車からの取得分10%を追加、アジアでの低価格車戦略を強化する。五菱汽車への技術供与も行う。(日経10.11.12夕)
		三菱レイヨン(過半数で調整中)	北京首創(北京キャピタル)	水処理事業の合弁会社		工業分野を中心に膜の販売や処理設備の建設・維持を手がけ、伸長著しい中国水処理市場の取込みを急ぐ。15年度には年500億円の売上高をめざす。(日刊工10.11.18)
トヨタ自動車研究開発センター	江蘇省常熟市	トヨタ自動車(100%)		自動車の研究開発拠点	197億円(総投資額579億円)	11年春に業務開始、13年までに主要設備を整える。現地技術者が主体となり地域ニーズに沿った車の開発や省エネルギー技術の調査・研究を行う。(日刊工10.11.18)
結進日金工精密金属	台湾永康市	日本金属工業(48.6%)、伊藤忠丸紅鉄鋼(14.9%)	台湾・結進材料科技(36.5%)	ステンレス精密圧延品の合弁販社	9,130万台湾ドル(約2.5億円)	12年度までに販売量を09年度比2倍の月2,000トンに引き上げるため、日本から輸出したステンレス母材を現地で精密圧延して販売する体制をとる。(日刊工10.11.19)
武漢敏島汽車零部件	湖北省武漢市	野島製作所(50%)	敏実集団傘下の投資会社(50%)	自動車シートフレームの合弁生産会社	4億円	円高などで海外生産を加速する自動車大手に対応。敏実集団の工場を借り、11年2月に試験生産を始める。年12万台分のホンダ向け供給が決定済み。(日経産10.11.19)
Jーエクスプレス・テクノロジー	上海市	豊田通商(50%)	上海信維汽車服務(50%)	ネット通販の合弁会社	1億円	11年1月に設立したうえで淘宝(タオバオ)へ商品を供給。まずグループ会社の衣料品サイトを開設し、コールセンター、倉庫、配送などの物流業務を手がける。(日経産10.11.19)
大金液圧(蘇州)	江蘇省蘇州市	ダイキン工業(100%)		工作機械向け油圧機の製販子会社		インフラ投資拡大を背景とする中国市場の旺盛な需要を取り込む。現地ニーズに対応した普及品を投入し、13年売上高で10年比5倍の100億円をめざす。(日経10.11.21)
日立化成工業(中国)投資(仮称)	上海市	日立化成工業(100%)		中国グループ統括会社	3,000万ドル(約25億円)	中国での投資対応やグループ会社のマーケティング、技術管理、ファイナンスを支援・強化、事業拡大をはかる。業務が軌道に乗れば持株会社化を検討。(日刊工10.11.25)
野村信息技術(大連)	大連市	野村ホールディングス(100%)		日本語データ処理センター		顧客口座データの入力など国内支店の事務を賃料等の安い現地に移し、5年で50億円の経費削減を見込む。金融機関の日本語海外事務所は初めて。(日経10.11.25)

11月の対中プラント輸出・技術供与・業務提携・協力

日本・外国企業	中国企業・機関	所在地	事業項目	契約額	概　要
上海森松圧力容器(森松工業の子会社)	恒力集団	大連市	PTA生産設備の受注	数十億円	現地化繊大手・恒力が大連で建設中のPTAプラントに4基納入。今回の実績を、化学などの大規模プラント新設が相次ぐ現地での商機拡大につなげる。(日経10.11.3)
伊藤忠商事	東軟集団(30%)	遼寧省	IT分野での包括提携		ネットワーク経由でソフトフェアを提供するクラウドコンピューティング事業や、ITを利用した省エネルギーサービスで連携する。現地の有力企業と組み、拡大する中国のIT関連需要を取り込むのねらい。(日経10.11.3)
米ゼネラル・モーターズ(GM)	上海汽車集団		電気自動車と燃料電池車の共同開発		共同出資で設立した中国の研究開発センターで、主に電気自動車の量産化を推進。次世代車の共同開発にも踏み出すことで、GMが計画する再上場の株式保有先として上海汽車が有力となっている。(日経10.11.4)
ビルコム	上海億目広告	上海市	事業買収		ビルコムのノウハウを活用してインターネットを使った現地販促支援サービスを開始、中国に進出した日本企業を開拓する。事業の受け皿となる現法を11年4月に設立、億目を事実上、子会社化する。(日経産10.11.8)
ディナベック	北京三諾佳邑生物技術	北京市	遺伝子治療技術のライセンス供与		ディナベックの特許を活用した遺伝子組換え技術で、網膜色素変性症の進行を大幅に遅らせることが期待される。中国でヒトでの臨床試験に進む。同社は技術使用料で遺伝子事業の拡大をねらう。(日経10.11.10)
ブリジストン	台湾・台達電子工業(デルタ電子)		電子ペーパー端末の共同開発		ブリジストンの高速応答電子ペーパー技術を活用し、デルタが端末を開発。主に台湾・中国で電子書籍や電子看板の市場開拓をめざす。(日経産10.11.10)

兼松エンジニアリング	特装車メーカー		清掃車の生産技術供与と製販		ポンプなどの基幹部品も支給。中国はインフラ整備で清掃車の市場規模が日本の2～3倍。従来は輸出のみだったが、現地生産を機に本格参入。5年程度で年間数十億円の売上高をめざす。(日刊工10.11.16)
富士通セミコンダクター	台湾・スカイヴィア		半導体技術開発向け資本業務提携	300万ドル(2.5億円、出資)	次世代デジタルネットワークに対応したテレビ向け半導体の技術開発で協力、11年内に製品化のめどをつける。中国では電話、CATV、ネットを統合する方向にあり、提携で効率化をはかるねらい。(日刊工10.11.19)
米ベンチャー企業12社	台湾・鴻海精密工業		指紋識別・音声認識の技術提携		半導体、バッテリー、センサー、基本ソフトなどの分野で高い技術を持つシリコンバレーのベンチャーと新商品の設計や開発・商品化で協力するほか、有望案件では出資も検討する。(日経10.11.19)
パナホーム	台湾・新光国際開発	台北市	不動産開発の業務提携		パナホームの住宅会社としての設計・施工実績、新光のアジアでの不動産開発実績をベースに情報交換を行い事業拡大につなげる。(日刊工10.11.19)
日立プラントテクノロジー	成都市興蓉集団	四川省	水処理事業での提携		11年に合弁で特別目的会社(SPC)を設立し、下水処理施設の建設などを手がける。将来は中国や日本以外の水事業に共同参画することも検討。(日経10.11.23)
伊藤忠商事	香港・フォーチュン・リンク、台湾・ピーシー・ホーム・ストア	香港、台湾	ネット通販での資本業務提携	数千万円、数億円	出資比率は各社10%前後となる。日本国内で販売を手がけているブランドの衣料や化粧品などを両社サイトを通じて、利用者が急拡大する中国で販売。中国での生活消費関連の収益拡大をねらう。(日経10.11.20)
日本郵政グループ	中国郵政集団		小口物流での業務提携		ネット小売各社が中国向けの割安な宅配サービスを求めているのに対応。日本のネット通販を利用する中国の消費者向けに、低価格の新サービスを提供するほか、国際スピード郵便の料金も割り引く。(日経10.11.22夕)
三菱商事	宝鋼集団		環境分野での戦略提携		中国で企業向け省エネルギー支援や排出枠ビジネス、上下水などの水事業運営をめざす。アジアでの太陽光や風力発電事業も検討する。(日経10.11.23)

11月の中国関連事業拡大企業

現地企業	所在地	設立	日本・外国企業	中国企業・機関	事業項目	事業費	概　要
蘇州愛知科技	江蘇省蘇州市	11年秋	愛知電機		エアコンのコンプレッサー用直流モーターの増産		交流モーターに比べ省エネ化や制御の高精度化が図れるため、エアコンでの採用率が10%程度の中国でも直流モーターへの置換えが進むとみて、工場を増築。12年度の海外売上高を09年度比2倍の100億円に引き上げる。(日刊工10.11.1)
	江蘇省蘇州市 浙江省上虞市	11年6月まで、 12年まで	川崎重工業		建機用モーター、ポンプの増産	10億円	蘇州では土地を新規確保のうえ1.2万平米の建屋を新設してモーターを2.2倍の2万台に、上虞では合弁相手から土地の追加配分を受け加工設備を増設してポンプを蘇州と合わせ約4割増の年6万台に、生産能力を引き上げる。(日刊工10.11.2)
セーレン蘇州	江蘇省蘇州市	12年	セーレン		自動車向け合成皮革の工場棟増設	10億円	旺盛な現地需要に対応するには既存工場での追加投資が必要と判断。日系自動車メーカー向けを中心に2拠点で月産30万メートル(乗用車6万台相当)の供給をめざす。(日刊工10.11.2)
青島吉明美機械製造	山東省青島市	11年秋(稼働)	GMB		自動車のユニバーサルジョイント製造工場新設	15億円	欧州自動車部品メーカーなど向けにOEM生産している半製品を現状比2倍の月産60万個にする。現地補修市場向けに供給を始める完成品と合わせると、4割増、同100万個の見通し。従来は日本や韓国で完成品にしていた。(日刊工10.11.2)
住友電工電子製品深圳	深圳市	10年11月(稼働)	住友電気工業		電子部品工場新設	30億円	従来は輸出用製品の生産が中心だったが、スマートフォン用などの電子部品で拡大する現地の需要に対応するため、グループとして中国最大の生産拠点を開設。現地メーカーとの直接取引に向けて人民元建て決済も始める。(日経10.11.3)
	武漢市 西安市 成都市		住友重機械工業		変減速機の組立工場新設		自動車や物流システム、産業機械向け小型・中型変減速機の需要が拡大し、10年は受注が倍増する見込みの中国で、上海、天津、広州、唐山の沿海部4市の既存工場に加えて、内陸部にも工場を設置して需要を取り込む。(日刊工10.11.4)

日立建機中国	安徽省合肥市	13年度(達成)	日立建機		油圧ショベル等の生産能力増強	100億円	中国の建機需要は景気刺激策で09年央から増加、西部大開発計画も10年延長されることから、現地生産台数を段階的に引上げ、13年度は現状比67％増の3万台にする。(日刊工10.11.5)
上海メカトロセンター	上海市虹口区	10年11月(開業)	サンワテクノス		機械部品の試作・試験機能強化		センターを2倍に拡張して、複合部品の試作台を整備、性能試験のスペースも確保。13年には8割増員、単品売りに加え部品をシステムとして販売しやすい体制も整える。(日経産10.11.5)
合肥オーバル儀表	安徽省	10年度内(稼働)	オーバル		太陽電池関連装置向け流量計の生産体制増強	2,000万円	子会社の新工場にマニシングセンターや流量計の管の溶接用真空炉などを導入して生産能力を現状比2倍に増強する。現在10億円の年間売上高も11年内に倍増をめざす。(日刊工10.11.8)
		13年3月まで	大建工業		代理店などの増設		代理店を3倍100社に、ショールームも80店を300店に増やす。高機能品投入でブランド化、13年度売上高で倍増の16億円をめざす。(日経10.11.8)
天馬皇冠精密工業(蘇州)	江蘇省蘇州市	11年11月(稼働)	天馬		プラスチック成形品や二次加工品の工場新設	15億円	子会社の上海天馬精塑で新規取引先の受注が拡大したため、日系企業の多い蘇州で製造販売。生産ネットワーク拡充で、より迅速に顧客ニーズに対応する体制を整える。(日刊工10.11.8)
販売3拠点	北京市広州市武漢市	10年11月	日本トムソン		軸受、直動機器の直接販売		従来は代理店販売が主体だったが、体制直動機器を売り込むには顧客への技術支援をしやすい直販が必要と判断、上海の既存販社に加えて4拠点体制とし、販売員も増やす。(日経産10.11.8)
	山東省青島市	11年7月(稼働)	住友倉庫		物流拠点の増強	2.3億円	既存拠点の敷地内に2棟目の倉庫を建設、中国から日本・アジア諸国に輸出する日用品や衣類などを集約する。検品やラベル貼りなどの作業も請け負い、付加価値を高める。(日経産10.11.8)
日阪常熟機械科技	江蘇省	10年末(稼働)	日阪製作所		食品・医薬機械と染色機械の生産	1～2億円	円高で受注競争力が低下している中国市場をテコ入れするため現法で生産。新規設備の導入でコストを20％削減する。15年度売上高計画を10億円から15億以上に引き上げる。(日刊工10.11.9)
汎用製品工場	重慶市	11年後半(稼働)	ホンダ		小型耕運機の生産	1億円	中国政府による農業の機械化支援策で耕運機の需要増を見込めると判断、現地生産で市場に参入。年産1,000台規模で始め、5,000台まで段階的に生産量を引き上げる。(日刊工10.11.9)
森田化工	江蘇省張家港市	12年	森田化学工業		リチウム電池向け電解質の増産	15億円	現地合弁工場内に新棟を建設、3系統のプラントを順次稼働させ、現状比3.7倍の4,400トンまで拡大。携帯電話向けの需要増が続くなか、世界シェアの維持・拡大をめざす。(日経産10.11.9)
日立金属(蘇州)科技	江蘇省蘇州市	12年1月(稼働)	日立金属		自動車エンジン用ステンレス材の量産	20億円	現地グループ会社内に建屋と設備を新設して量産、コスト競争力の向上や納期の短縮につなげる。拡大する中国の自動車需要を取り込み、15年度に20億円の売上高をめざす。(日経産10.11.10)
山東傑富意振興化工	山東省濰坊市	10年12月	JFEケミカル		コールタールの蒸留能力増強	3億円弱	既存設備の改良で現在の年産40万トンを50万トンに引き上げる。中国では鉄鋼生産向けなどでコークス生産が拡大する一方、コールタール蒸留設備が不足している。(日刊工10.11.10)
	東莞市	11年3月(稼働)	木谷電器		太陽光発電パネル用配線ユニットの増産	0.5億～0.7億円	日本国内での太陽光発電装置の需要拡大に対応するには現工場の生産能力月13万台は限界に近いため、同市内に移転・拡張、現行比で最大約4倍の50万台体制とする。(日経産10.11.10)
徳山化工(浙江)	浙江省嘉興市	10年12月(稼働)	トクヤマ		光ファイバ原料(四塩化ケイ素)の生産	10億円	経済成長に伴う通信データ量の増加などで光ファイバーの需要が拡大し、同日系メーカーも相次ぎ進出していることから、年産1万トンの工場を新設、成長市場を開拓する。(日経産10.11.12)
		12年7月まで(稼働)	東レ		高機能不織布の製造設備増強	100億円	紙おむつ向けなど不織布の需要が中国で急増。11年3月稼働予定で現在約50億円で増設中の生産ラインにさらに50億円を投資。全体で6割増の年産10.8万トンに引き上げる。(日経産10.11.16)
	吉林省長春市	12年末(稼働)	デンソー		カーエアコン工場建設による生産体制の増強	16億円	「一汽トヨタ」や「一汽VW」など自動車大手における部品の現地調達ニーズ増大に対応。15年度売上高を129億円と見込む。東北地方では初、中国全土で26カ所目の生産拠点。(FSB 10.11.16)

衛材(中国)薬業、蘇州工場	上海市蘇州市	13年度(品目)、10年度末(人員)	エーザイ		投入医薬品目と人員の増強		医療保険対象者拡大の政府方針が打ち出された中国で、取扱品目にB型肝炎治療薬など6品目を加え18種以上とし、営業担当者(MR)も170人現地採用して1,000人体制とする。(日経産10.11.16)
台湾・奇美電子		11年度	ソニー		テレビ用液晶パネルの調達量引上げ		赤字が続くテレビ事業で、コスト力のある台湾のEMSを積極活用し調達量を5倍の1,000万台に増やす。調達先の一つシャープ堺工場の共同出資会社への追加出資は見送る。(日刊工10.11.16)
	上海市	10年末(移転)	オリジン電気		複合機用新型クラッチの増産	数千万円	既存工場を同市内で面積が2倍となる新工場に移して生産設備を増強、11年度半ばをめどに生産能力を現状比5倍の10万個に増やす。11年度売上高で12億円をめざす。(日経産10.11.18)
森六汽車配件	湖北省武漢市	11年中(稼働)	森六ホールディングス		4輪向け内外装用樹脂部品の増強	10億円	既存工場の敷地内に新工場を建設し、生産能力を月約2万台から同4万台に引き上げ、東風本田汽車向けに供給する。(日刊工10.11.18)
			みずほコーポレート銀行		事務受託・資金管理サービスの拡大		中国進出企業の経理や支払・資金回収などの代行事業に邦銀で初めて参入、安川電機など4社と契約した。欧州企業にも資金管理サービスを提供するなど顧客対象を拡大する。(日経10.11.19)
蘇州工場、深圳工場	蘇州市深圳市	11年秋(稼働)	大同特殊鋼		ネオジム磁石の生産能力増強	計15億円	産業ロボットや携帯電話向けなどの小型モーター用に増産、2工場合わせて現在の2.5倍1,000トンにする。レアアースの含有量が少ない特徴を生かし、シェア拡大をめざす。(日刊工10.11.23)
唐山工場	河北省	12年4月	住友建機		大型部品センターの新設	3～4億円	従来は代理店で保管していた補修部品を自前で保管、素早い供給体制とする。現在50％の現地部品調達率を2年後には70％に引き上げる。海外の同センターは3カ所目。(日経産10.11.24)
	天津市	13年(稼働)	米・キャタピラー		大型エンジン工場の新設	3億ドル(約250億円)	需要が見込めるアジア太平洋地域を対象に特化し、船舶やプラント向けに生産。新興国での生産増強を急ぎ、インドなどと合わせ数年間で25億ドル(約2,000億円)を投資する。(日刊工10.11.25)
	無錫市	11年中(販売)	ニチコン		コンデンサ工場の新設	100億円	エアコンの省電力化などでの需要増を見込み、数量ベースで3割増産。国内の生産能力増強と合わせ、11年3月期の設備投資を期初計画の45億円から100億円に倍層する。(日経10.11.27)
	無錫市	12年(稼働)	大和ハウス		不動産開発事業	100億円	マンション・戸建て400戸の複合開発を建設、富裕層向けに分譲し150億円の売上を見込む。少子化で国内で住宅市場が縮小するなか、中国を軸に新たな収益源を育成する。(日刊工10.11.30)

11月の中国関連事業変更・再編企業

現地企業	所在地	設立	日本・外国企業	中国企業・機関	事業項目	事業費	概　要
東風本田汽車など合弁2社	武漢市広州市	12年	ホンダ		ハイブリッド車(HV)の現地生産		世界最大の自動車市場・中国では今後、燃費性能の高いHV市場も拡大すると判断、現地生産でコストを引き下げ、先行するトヨタ自動車を追う。同社HVの海外生産は初めて。(日経10.11.4)
新工場	広東省中山市	12年10月(稼働)	太陽ホールディングス		レジストインキの設備投資計画再開	約25億円	リーマン・ショックで投資を凍結していたが需要が回復基調とみて、シェアの低い中国で供給拡大に踏み切る。生産能力は年5,000トン、16年までには2,000トンを増強予定。(日経産10.11.24)
東芝家電製造南海	広東省広州市		東芝		白物家電開発体制の現地化		需要に合った製品を迅速に市場に投入するため、現地の研究開発拠点を大幅に増強、マーケティングセンターも新設する。日本国内の同センターは先端技術に特化する。(日経10.11.25)
			日本精鉱		海外事業部の新設		中国での合弁会社設立に向けて、合弁相手との交渉や設立後の運営、マーケティングなどに当たる。原料の安定調達やコスト競争力の強化を進め、海外事業の拡大をはかる。(日経産10.11.25)
		11年4月(稼働)	富士通セミコンダクター		半導体組立先端技術の中国移管		日本の生産設備を一部中国の関連会社に移し、先端技術を使ったシステムLSIの生産を現地で開始。現地企業と共同で研究開発センターも開設、低コストの生産体制を整える。(日経10.11.27)

11月の中国支店・事務所開設

日本・外国企業	本社所在地	支店・事務所名	現地所在地	概　要
みずほコーポレート銀行	東京都 千代田区	蘇州支店	江蘇省 蘇州市	中国本土で11店目、駐在員事務所を含めると13拠点で、邦銀最大のネットワークとなる。各種金融サービスの提供や取引先の事業展開のサポートに注力する。(日刊工10.11.2)
住友電気工業	大阪市 中央区	研修拠点	上海市	事業のグローバル展開に伴い海外拠点に勤務する社員の能力向上が急務だが、特に中国では職種に応じたプログラムを充実して経営体制の強化につなげるため、統括会社・住友電工諮詢(上海)に本社人材開発部から専任スタッフを派遣、常駐させる。(日刊工10.11.3)
阪急阪神エクスプレス	大阪市 北区	事務所	重慶市	内陸部有数の工業都市として発展がめざましく、各国のメーカーが進出している同市で、中国内部での輸送業務を強化するのがねらい。同社として中国で7法人、26拠点目となる。(日刊工10.11.4)
パナソニック電工	大阪府 門真市	中国照明調達・評価センター	上海市	中国で製造販売する照明器具の部材につき、現在4割を日本から持ち込んでいるのを12年度までに100%現地調達に切り替えるために開設。部材メーカーの開拓から調達開始までの期間を現行の3分の1に当たる4カ月に短縮。コストも3割減とする。(日経10.11.5)
カナデン	東京都 港区	深圳事務所	広東省 深圳市	従来は子会社の科拿電国際貿易(上海)で営業活動を行っていたが、リーマン・ショック以降、華南地区進出の日系企業から生産設備の増強に向けてFA機器販売などの引合いが増えたため。年内に華北の天津市にも事務所開設の方針。(日刊工10.11.5)
ロート製薬	大阪市 生野区	エピステーム直営店	上海市	同社初の海外直営店として11月に開店。アジア市場を見据え、流行発信地に直営店を設けることで化粧品「エピステーム」のブランドイメージを高める戦略。スキンケア商品を販売するほか、美顔エステのサービスも提供、女性の需要を掘り起こす。(日経産10.11.9)
ユニヘアー(旧アデランスホールディングス)		ラブズチェンジ店(3店舗)	上海市郊外	10～20歳代女性を対象にしたかつら店(ラブズチェンジ)とし、3年後をめどに沿岸部を中心に約50店開設する。9月に50歳代中心のかつら店(フォンテーヌ1号店)を上海に開設したが、若い世代の来店が予想以上に多いため出店戦略を転換する。(日経産10.11.10)
ダイセル化学工業		ダイセル薬物手性技術上海の北京分室	北京市	上海では欧米大手向けにキラルカラムの販売・技術サービスなどを展開しているが、華北地区でサービス需要が高まっているため、ケミカル事業の拠点として11年1月から業務を始める。(日刊工10.11.10)
ダイエー		ファッションビル「OPA」	上海市	経営再建の途上だが、成長のためには海外に再進出する必要があると判断。若い女性向け衣料品店や雑貨店など30前後のテナントが入る予定。運営は現地企業に任せ経営指導料を得る形とするが、海外店の開業や運営ノウハウを蓄積するねらい。(朝日10.11.18)
プリンスホテル		駐在員事務所(2カ所)	上海市、北京市	北京事務所は子会社の西武トラベルが設置。ビザ発給要件の緩和で訪日客の増加が見込まれる中国で、主に富裕層の消費動向や生活様式、飲食の好みなどの情報を集め、ホテルでのサービスに反映させる。ホテル業界の中国事務所設置は珍しい。(読売10.11.22)
アビダス	東京都 渋谷区	資格取得スクール	上海市	米国公認会計士(USCPA)の資格取得スクールを11年1月に開講。12年には北京と深圳でも講座を開く。USCPAは米国企業や米国に拠点を持つ中国企業への就職に有利だと言われ、現地での人気が高い。日本で培ったノウハウを転用する。(日経10.11.24)

11月の中国企業・機関の海外進出

中国企業・機関	進出地	日本・外国企業	事業項目	概　要
上海電気集団	インドアンドラプラデシュ州	リライアンス・パワー	発電設備(発電能力3,000万kW相当)の受注	ボイラー、タービン、発電機のパッケージ66万kW級42セットを3年間で納入完了。受注額約100億ドル(約8,000億円)。両社は戦略的協力協定も結び、上海電気は部品交換や人材育成にも対応。(日経10.11.1)
パシフィック・アライアンス・グループ(PAG)	香港	セキュアード・キャピタル・ジャパン	不動産ファンドの持株会社設立	セキュアード株へのTOBで全株取得して東証1部上場を廃止、PAGが過半数の株式を所有する共同持株会社を香港証券取引所に新規株式公開をめざす。PAGのアジアでの事業展開に弾みをつける。(日経10.11.5)
天合光能(トリナソーラー)	日本	ソーラーシリコンテクノロジー	住宅用太陽光発電パネルの販売提携	発電能力当たり単価を国内メーカーの製品より5～10%抑え、屋根材と一体型の製品として11年1月から販売。日本の補助制度を見込み、産業用と合わせ11年中で3万kWの販売をめざす。(日経産10.11.12)

12月の中国関連の合弁・全額出資・合作企業

設立企業名	所在地	日本・外国企業	中国企業・機関	事業項目	資本金	概　要
天津睿瀛生物科技	天津市	EPS(50%)、GNI(50%)		肝硬変治療薬の開発・製販会社	5億円	GNI子会社が創製した肝線維症および肝硬変の治療薬を共同開発。EPSは開発費の一部を負担するとともに、臨床開発を支援する。すでに中国で第1相治験を終了し、第2相治験に入る。（日経産10.12.1）
	南京市(生産拠点)	住友商事(29%)	C&Oファーマシューティカル・テクノロジー	製薬会社への出資	約60億円(出資額)	成長著しい医薬品市場の中国全土に販売網を持つC&Oの第2位株主となる。中国に十分な販路を持たない世界の製薬会社の薬をC&Oに仲介、C&Oが中国での臨床試験や販売を手がける。（日経10.12.1）
王子製紙国際貿易(上海)	上海市	王子製紙(100%)		パルプなどの販売子会社	100万ドル(約8,300万円)	11年1月業務開始。中国における資源ビジネスの拠点としての機能を持たせ、木材製品の輸出入販売、製紙用薬品や原料の調達・情報収集も手がける。初年度は7,000万ドルの売上をめざす。（日刊工10.12.2）
インテック上海	上海市	インテック(100%)		管理システム構築の子会社		同社はITホールディングス傘下企業。11年1月営業開始。生産、販売管理システムなどの構築を手がけ、中国に進出している日系製造業のITを支援する。（日経産10.12.2）
	重慶市両江新区	台湾・宏碁(エイサー)		統括拠点	1.5億ドル(約120億円)	現地進出が進む台湾系電子機器の受託製造サービス会社の生産能力を活用し、ノートパソコンの50％を調達して生産コストの引下げをねらう。内陸部での販売体制も強化する。中国で2カ所目。（日経10.12.2）
緯創控股(成都)、緯創資通(成都)	四川省成都市	台湾・緯創資通(ウィスロン)		投資会社を通じてのノートパソコン生産法人	1億ドル(約84億円)	沿海部で賃上げの動きが強まるのに伴い、内陸部へ進出、11月末稼働。これで四川省、重慶市に台湾の電子製品製造受託サービス大手5社が出そろう。（日経産
神鋼精密器材	蘇州市	神鋼商事(80%)、コベルコ材研(20%)		液晶や半導体などの製造装置向け部品加工会社		現地の旺盛な需要に対応、製造装置に使うアルミニウム部品のほか、液晶パネル部材の加工も担う。11年4月稼働、初年度2億円の売上高をめざす。（日経産10.12.3）
昕芙旎雅商貿(上海)	上海市	シンフォニアテクノロジー(100%、旧神鋼電機)		振動搬送機器等の販売・サービス・調達子会社	1億円	15年ぶりの海外拠点として11年1月から営業を開始。振動機の現地生産を視野に天津、深圳、東莞に続く新工場建設も検討。3年後に9ポイント増23％の海外販売比率、20億円の売上高をめざす。（日刊工10.12.3）
		英豪・リオ・ティント(49%)	中国アルミ(51%)	資源探査の合弁会社	未発表	11年上期から中国本土で3～5カ所で鉄鋼原料輸液炭（原料炭）や銅の大規模な探査を始める予定。（日経10.12.4）
浙江富昌泰汽車部件	浙江省	富士機工(51%)、タチエス(9%)、台湾・信昌国際投資(40%)		自動車用シート部品の製販会社	1,200万ドル(約10億円)	日系・現地メーカーへの拡販をねらい、現地仕様の低価格なシートリクライナーやスライドレールを11年11月から生産。総投資額は20億円、13年までに一貫生産体制を整え、売上高40億円を見込む。（日刊工10.12.6）
古河斯凱鋁材	上海市	古河スカイ		アルミ圧延品の販売子会社		自動車向けの需要拡大に対応して市場開拓。熱交換器用材料を中心にアルミ板材の販売を始めて押出、鋳物、鍛造と販売製品を順次増やし、13年の売上高10億円をめざす。（日刊工10.12.8）
泰安佳裕食品	山東省	ニチレイフーズ(30%)	台湾の食品メーカー(70%)	冷凍野菜の合弁生産会社		天候不順で生野菜の価格が高騰するなか、価格が一定の冷凍野菜は需要が伸びると判断、11年1月に設立。現地の農家が収穫するブロッコリーやインゲンなどをカット・冷凍し、日本に輸出する。（日経10.12.9）
智索無紡材料(常熟)	江蘇省常熟市	チッソポリプロ繊維(100%)		スルーエア不織布の製販会社	800万ドル(約6.64億円)	広州の子会社でも製造販売しているが、中国で紙おむつなど衛生材料市場が拡大しているため、新たに供給体制を整える。11年10月末の第1期工事から、早期に1万2,,000トン体制に拡大する。（日刊工10.12.9）

大和高精密工業(深圳)(仮称)	深圳市	香港大和工貿(ヤマト・インダストリーの子会社、100%)		プラスチック射出成形品の製販子会社	5,000万香港ドル(約5.5億円)	深圳地区の外資優遇政策が切り替わるため、生産委託先工場を取り込み11年1月設立、4月に工場稼働。これにより複写機関連製品を中国国内で販売したり現地通貨で取引したりできる。(日経産10.12.14)
環宇東海橡塑	天津市	東海ゴム工業(60%)	天津市環宇橡塑製造(40%)	自動車用防振ゴムの生産合弁会社	13億円	11年1月設立、6月から現地資本の自動車メーカー向けに低価格品を生産。15年度には約50億円の売上高をめざす。加工設備や金型は現地調達する。4社目だが、既存3社は日系メーカー向け。(日刊工10.12.14)
ヤマトプロテック大連	大連市	ヤマトプロテック(100%)		消火能力の高い消火器や消火設備の販売子会社	1,260万円	国内市場が伸び悩むなか、建設ラッシュが続く中国での商機が大きいと判断。破裂の危険性が少ない蓄圧式を日本やベトナムの生産子会社から輸出し、中国の高級ホテルなどに売り込む。(日経10.12.15)
	江蘇省昆山市	協和工業(51%)	台湾・オーロテック(30%)、GMB(19%)	ステアリング部品のユニバーサルジョイント製造合弁会社	1億円	11年1月から製造、日系農機具メーカーの現地工場に供給する。11年12月期の売上高を5,000万円に見込む。今後は日系自動車関連メーカーの現地工場向けにも売り込む。(日刊工10.12.15)
	北京市	グンゼ(51%)	北京愛慕内衣(アイマー、49%)	下着専門店の展開に向けた合弁会社	4億円	アイマーが中国に持つ婦人下着の流通網と店舗運営のノウハウを活用し、14年をめどに百貨店などに300～400出店。同年売上高30億円をめざす。マーケティングや商品開発の機能も持たせる。(日経産10.12.15)
	大連市	富士重工業(50%)	奇瑞汽車(50%)	乗用車の合弁工場・販社	300億円	13年中に稼働、四輪駆動中型車の生産を年間5万台で始め将来は15万台に引き上げる。富士重の海外工場は89年の米国に続く2カ所目、中国新興メーカーとの合弁生産は日本企業で初めて。(日経10.12.21)
	江蘇省無錫市	三菱レイヨン(51%)	北京碧水源科技(オリジン、49%)	下水処理用中空糸膜の合弁製販・運営・保守会社	25～30億円(総投資額)	水質汚濁が深刻な中国で11年春をめどに設立、工場建設を始める。同社の技術力とオリジンの顧客網を合わせ、下水・排水処理需要を開拓。15年度売上高を11年度比2.8倍の700億円に見込む。(日経産10.12.22)
旭硝子(中国)投資	北京市	旭硝子(100%)		情報収集、事業開発、M&Aの展開に向けた子会社	3,000万ドル(約25億円)	中国に連結子会社が11社あるグループの総合力を生かし、環境関連など大型事業開発や大規模プロジェクト、新規投資などを推進。今後も市場の成長が見込める現地での事業拡大をめざす。(日刊工10.12.28)
アドヴィックス福州自動車部品	福建省福州市	アドヴィックス(80%)	台湾・六和機械(20%)	車輪ロック防止装置(ABS)の合弁生産会社と開発・販売の全額出資子会社	26億円	11年2月に現地3社目の生産会社を設立、13年4月に稼働。11年5月には米国に続く2カ国目の開発拠点を置く。中国売上高で10年12月期の約400億円から17年同期に500億～600億円をめざす。(日刊工10.12.28)
アドヴィックス中国	江蘇省常州市	同(100%)			1.7億円	
富璐達食品貿易(上海)	上海市	フルタ製菓(約70%)、日系食品商社(約30%)		チョコレートなどの販社	5,000万円	少子化で国内需要の成長が見込みにくいため、従来の食品商社を通じた販売から初の海外拠点により中国の販路拡大を本格化。全体の1%強にとどまる海外売上高を数年後は10%に引き上げる。(日経10.12.29)

12月の対中プラント輸出・技術供与・業務提携・協力

日本・外国企業	中国企業・機関	所在地	事業項目	契約額	概　要
ユタニ	大手変圧器メーカー	江蘇省	大型トランスコア用鋼板切断ラインの受注	2億円弱	11年8月納入。日本勢が現地大手変圧器メーカーから大型ラインを受注したのは初めて。今後、変圧器放熱板の成形ラインも中国市場に投入、アジアなど海外市場で年間2～3ラインの受注をめざす。(日刊工10.12.1)
トランスジェニック	遼寧メディバイオテクノロジー	遼寧省本渓市	尿サンプル癌診断薬開発のライセンス契約		開発に必要な抗体と測定キットを遼寧メディに有償提供し、尿中癌マーカー抗体を用いた対外診断薬を共同開発。当局の承認に向けて検討を開始、中国体外診断薬市場への展開をめざす。(日刊工10.12.1)